

シラバス

平成20年度 三年古典学習指導計画

教科	国語	単位数	2単位	学科・学年・コース・組	3年(全クラス)選択
使用教科書	「新編古典」(大修館書店)				
副教材等	「最新国語便覧」(浜島書店)				

1 学習の到達目標

古典に親しむことによって、人生を豊かにする態度を育てる。
 古典を通して、ものの見方、感じ方、考え方を広くする。
 古文・漢文を読む能力を養う。

2 学習の計画

学期	月	教材名	学習の目標	評価の観点			配当時間
				関心・意欲・態度	話す・聞く 読む・書く	理解 知識	
前期	4月	・をばすて	・古典の内容を展開に即して的確にとらえる。				3
		・行く河の流れ	・文章の表現の特色をとらえて、優れた表現に親しむ。				2
	5月	・神無月のころ	・古典の語句の意味、文章の構造を理解する。				2
		・雪のおもしろう降りたりし朝	・表現の工夫や文の展開を読み取る。				2
		・花は盛りに	・文章に表れた自然に対する考え方を理解する。				3
	6月	・ゆく春を	・古典の言葉に示されたものの見方を理解する。				2
		前期 中間考査					
	7月	・漁夫の利	・社会に対する考え方を読み取り、ものの見方を深める。				2
		・道真左遷	・文章に表れた人間や社会に対する考え方を読み取り、理解を深める。				3
		・競べ弓	・文章の内容を構成に即して的確にとらえる。				3
		・能登殿最期	・文章に込められた人間の生き方を理解する。				4
		前期 期末考査					
	9月	・静の白拍子	・人間の考え方や人物どうしの関わりについて理解を深める。				3
		・平泉	・人間と自然の関わりについて考えを深める。				3
・忘れ貝		・文章の表現の特色をとらえて、優れた表現に親しむ。				2	

後期	10月	・道行	・文章の内容を展開に即して的確に理解し、その特色をとらえる				3		
		・浅茅が宿	・人間の考え方や人物どうしの関わり、感情をとらえ理解を深める。				3		
	11月	・俗事をのがれて	・繰り返し音読みし、漢文独特の口調に習熟する。 ・作品を暗唱し、理解を深める。 ・詩人たちの人生観や自然観についての理解を深める。						
		山中問答						1	
		飲酒							1
		香炉峰下、新ト山居 草堂初成、偶題東壁							2
		題自画							0.5
	後期 中間考査								
	12月	・社会をみつめて	・作者や作中人物の、人間、社会、自然などに対する様々な思想や感情を的確に読み取り、自らのものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。						
		子夜呉歌						2	
		石壕吏 売炭翁							2.5 3
	1月	・人の性	・性善、性悪をめぐる古代思想家の考え方を理解し、自らの人間観・世界観を深める。						
		不忍人之心						4	
		人之性悪							3
	2月	・徳治と法治	・儒家の徳治主義と法家の法治主義の思想を理解し、人間や社会政治について理解を深める。						
		不令而行						0.5	
		民無信、不立 侵官之害							1.5 2
	2月	・自然に生きる	・道家の思想を理解する。 道家的な生き方と儒家的な生き方の違いについて考え、自らの人間観・世界観を深める。						
		無為而無不為							1
		小国寡民							2
夢為胡蝶 混沌								2 2	
後期 期末考査									

3 課題・提出物等

- ・各教材が終了するたびに、学習プリントを提出してもらいます。学習態度とみなし、評価して返しますので完成して提出してください。
- ・「暗誦テスト」や「四字熟語テスト」、「ことわざ・慣用句テスト」なども実施します。定期テストの範囲についてはテスト前に連絡します。学習プリントから多く出題しますので、プリントは紛失しないようにファイルしておきましょう。

4 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います。

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したり	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取った	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じた様々な文章を的確に読み取ったり読書	表現と理解に役立てるための音声、文法表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている

するとともに、伝え合おうとしているか。	りしているか。	いているか。	に親しんだりしているか。	か。
---------------------	---------	--------	--------------	----

これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、

- ・ 授業中の学習の様子（私語や居眠りなどせずに意欲的に学習をしているか）
 - ・ 学習プリントや課題などの提出物
 - ・ 授業中の発表や指名されたときの態度
 - ・ 年4回実施する定期テストやその他のテスト
- 等を参考に、総合的に判断し評価します。